

旅講座 第2弾

いろいろな色の小話 墓石の話

平成28年12月3日 武田幸司

古書みつづみ書房

本日の予定

14:00～16:00

1. 出席者 自己紹介
2. 黒とグレーの墓石色境について
3. 墓石の色の選択事由について

休憩

4. 現地調査旅であった小話
5. お持ちいただいた本の紹介

はじめに

JRの全国走破を成し遂げた時に車窓の風景を思い出して、ふと思いました。

西にグレーの墓が多く



東に黒の墓が多い



静岡・富山あたりが境だったような・・・

新聞記事を調べてみると、墓石の色への捉え方は東西で異なっていた。

黒髪の石は磨くと濃いグレーになる。
この色が、日本の自然に絶妙にとけ込むんです。

朝日新聞 (2002)2002年9月8日朝刊 山口版. 36.

雨にぬれた墓石が黒く光り、ああ、黒は墓地に似合う
と思った。黒い色がもっとも美しく見える場所だと感じた。

出久根達郎 (2004) 日本経済新聞2004年9月29日夕刊. 15.



現代日本の墓形態に定量調査・研究した事例

・能登地方における両墓形態についてアンケート調査を実施している。

松尾英輔 (1989) 1.鹿児島市唐湊墓地における年間の使用切り花の実態と分析。「鹿児島大学農学部学術報告」, 39, 309-318.

・鹿児島市唐湊墓地における年間の使用切り花について定量調査を実施。

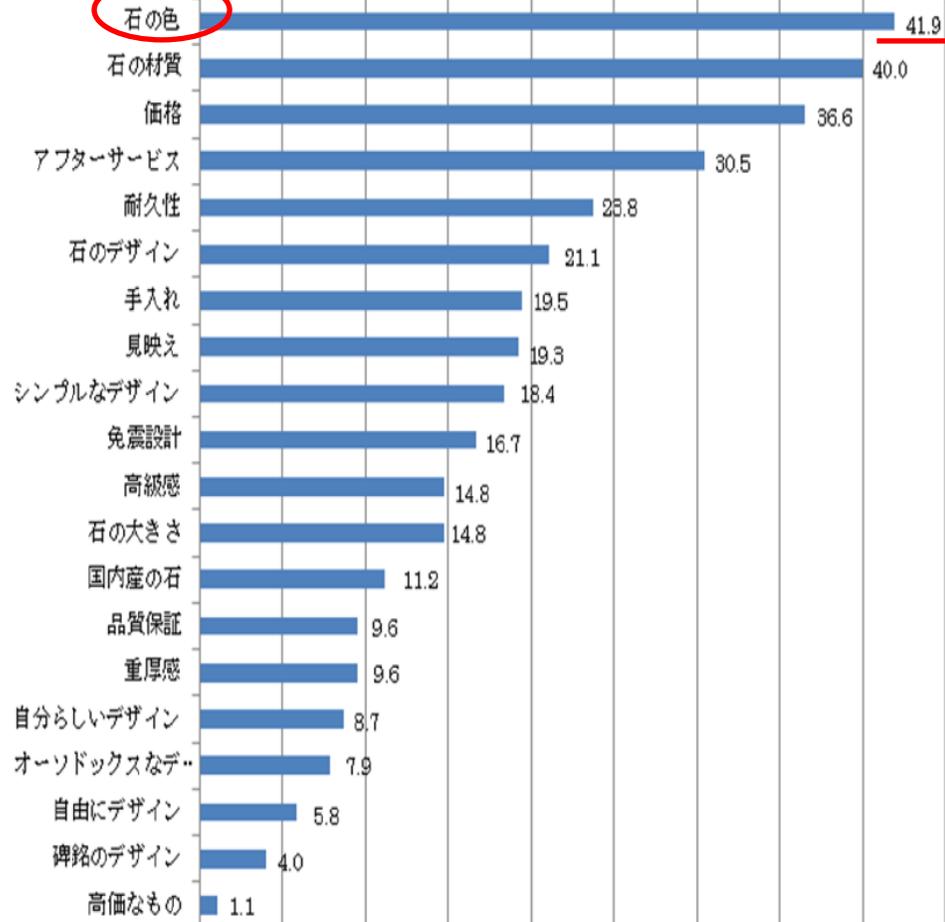
松山宏,小川 寛久 (1979) 能登地方における葬制墓制・慣行調査-アンケート集約について。「奈良大学紀要」, 8, 110-119.

墓石の色について
定量調査を行った
事例はない。

墓石の購入において 色が重視されている。

墓石選びの重視点 (全国)

出展「2014年お墓購入者アンケート調査
(一般社団法人全国優良石材店の会,2014)



◆ 研究の目的 ◆

- I . 墓石の色の境目を現地調査し
定量的手法で、境目を推定する。
- II . 色の選択事由を、明らかにする。

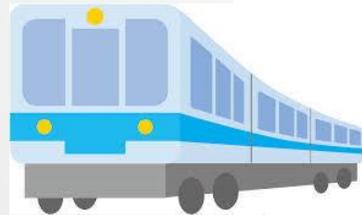
2. 黒とグレーの墓石色境について

黒色墓石数調査の概要

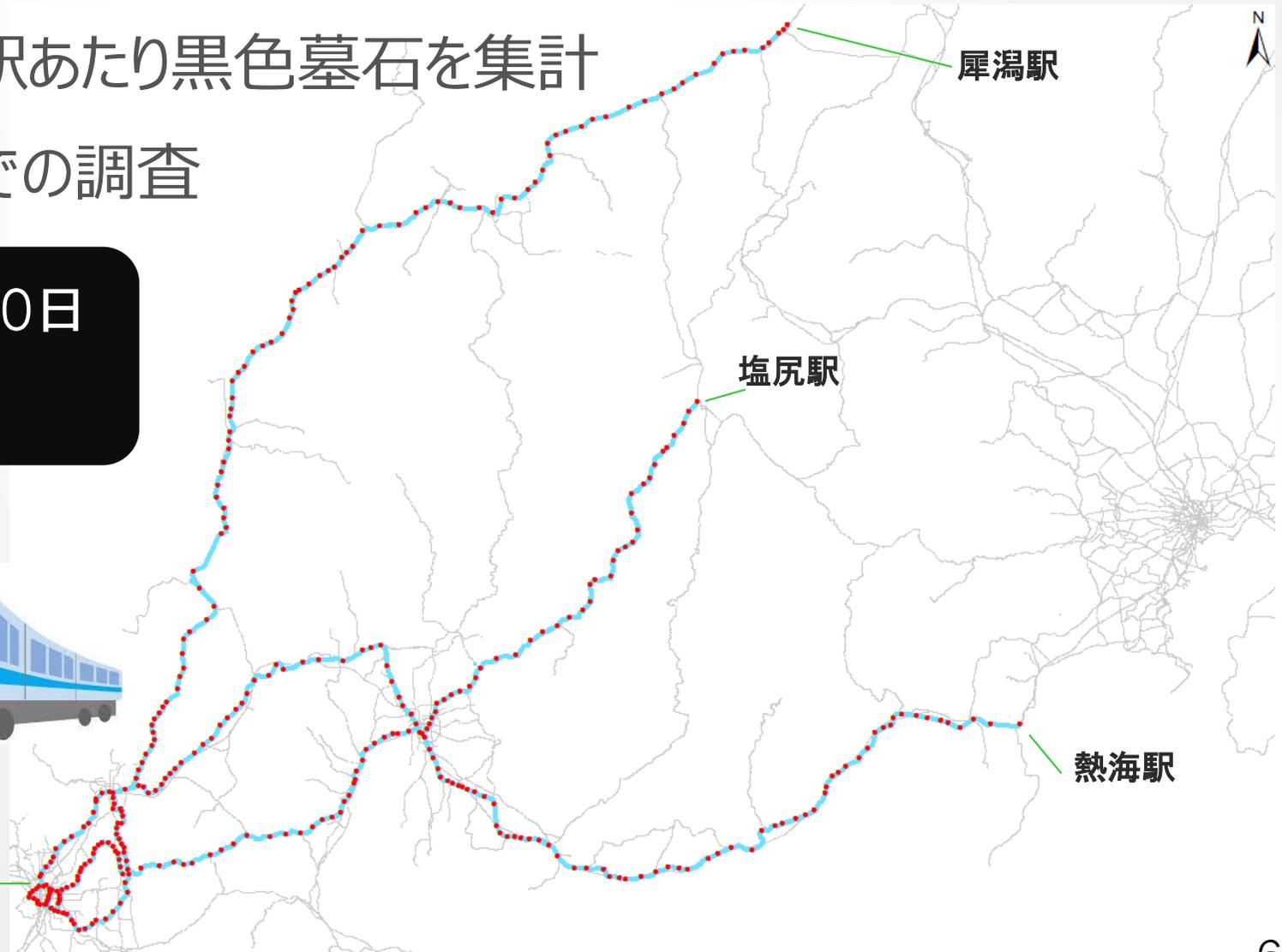
- 大阪駅を起点に、東に向かう **J R線265駅**を下車し駅から 1 k m内程度を調査
- 全1004箇所**の墓地の最寄り駅あたり黒色墓石を集計
- 黒色墓石が多数となる地域までの調査

2013年9月19日~2014年12月20日

計51回に分けて調査



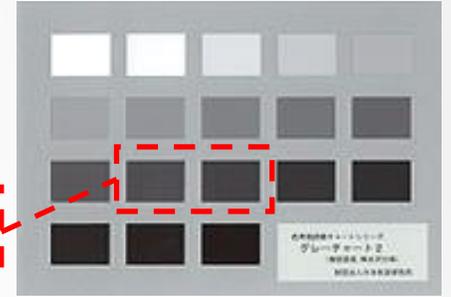
大阪駅



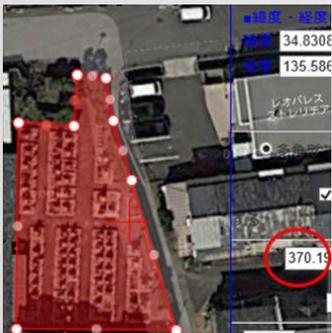
(1) 調査方法



- 墓石のうち、**竿**の部分の色で判断した。
- どれくらいの濃度で黒色とするか、**判定が難しい**時は、その**墓地内での黒の影響度**で判断した。
- 各墓地当たり黒墓数は**中央値に近い1,000㎡当たり**の数とした。**全墓数ではなく面積あたり**としたわけは、
 - ① 地域で 1 区画あたりの面積が異なり， 統一的な比較が困難
 - ② グレー統一されている墓地内での， **黒色のインパクトを重視**



日本色研究所
色再現評価チャートより



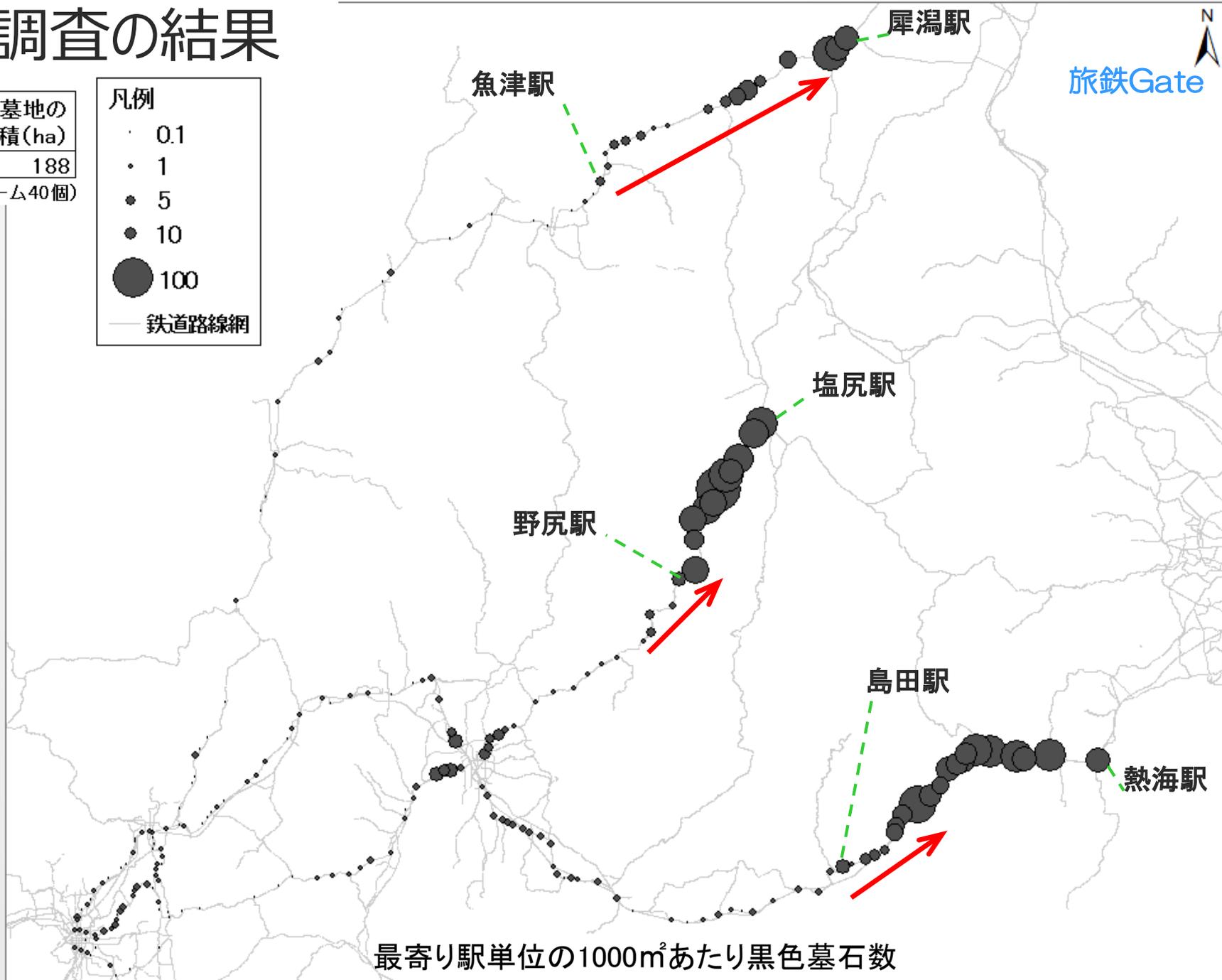
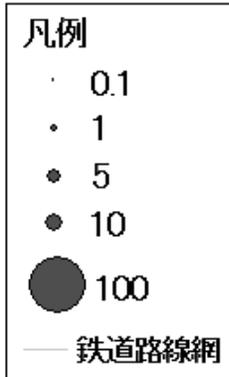
- 墓地面積測定はGooglemapsにより計測した。
- 面積は墓地内通路， 空き区画を含んだ面積とした。
- 墓地名， 黒色墓石数， 最寄り駅， 建立年， 墓地面積をデータベース化した。



(2) 黒色墓石数調査の結果

調査 駅数	1駅あた り墓地数	総黒墓数	全体での1000m ² あたり黒墓数	調査墓地の 総面積(ha)
265	3.8	10273	5.4	188

(東京ドーム40個)



最寄り駅単位の1000m²あたり黒色墓石数

起点を含む、関西地方では、黒色の墓石も存在するが、その数は少ない。

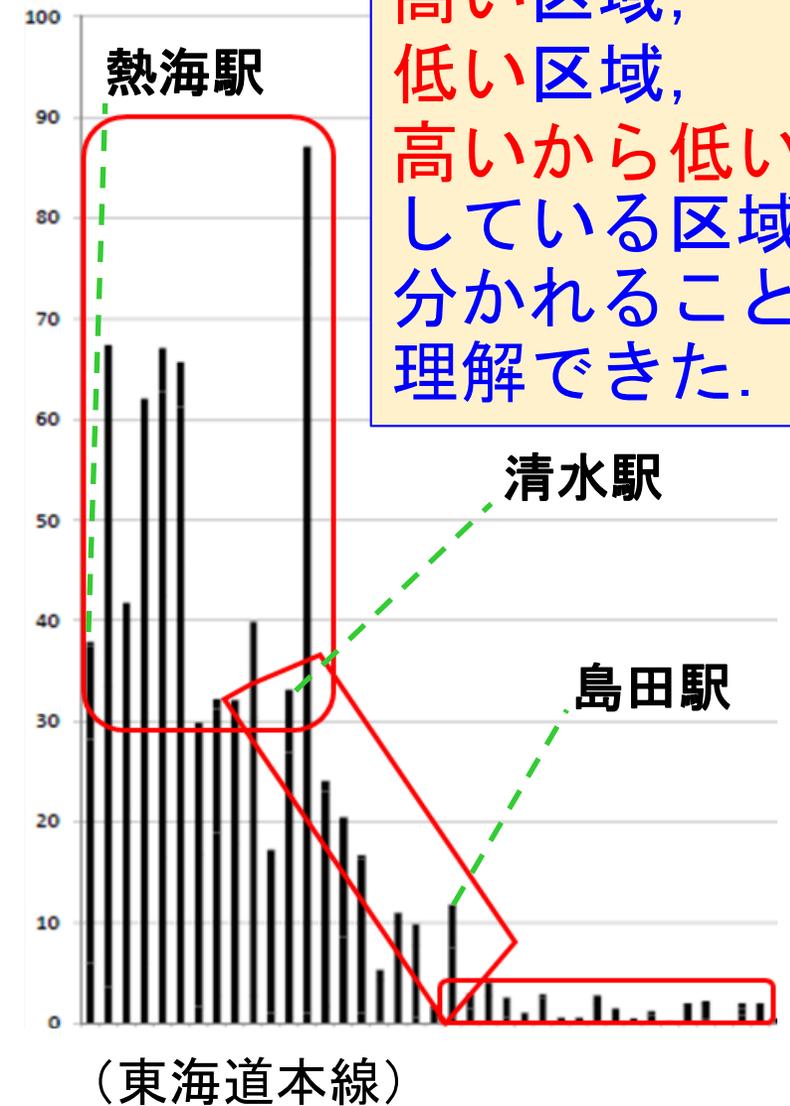
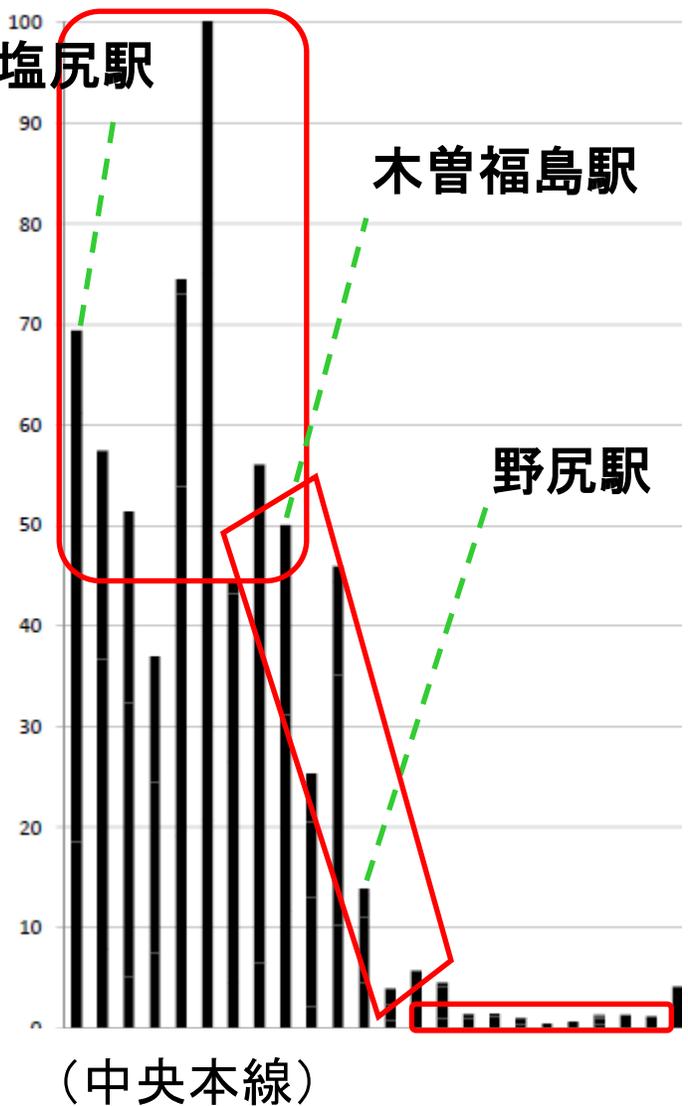
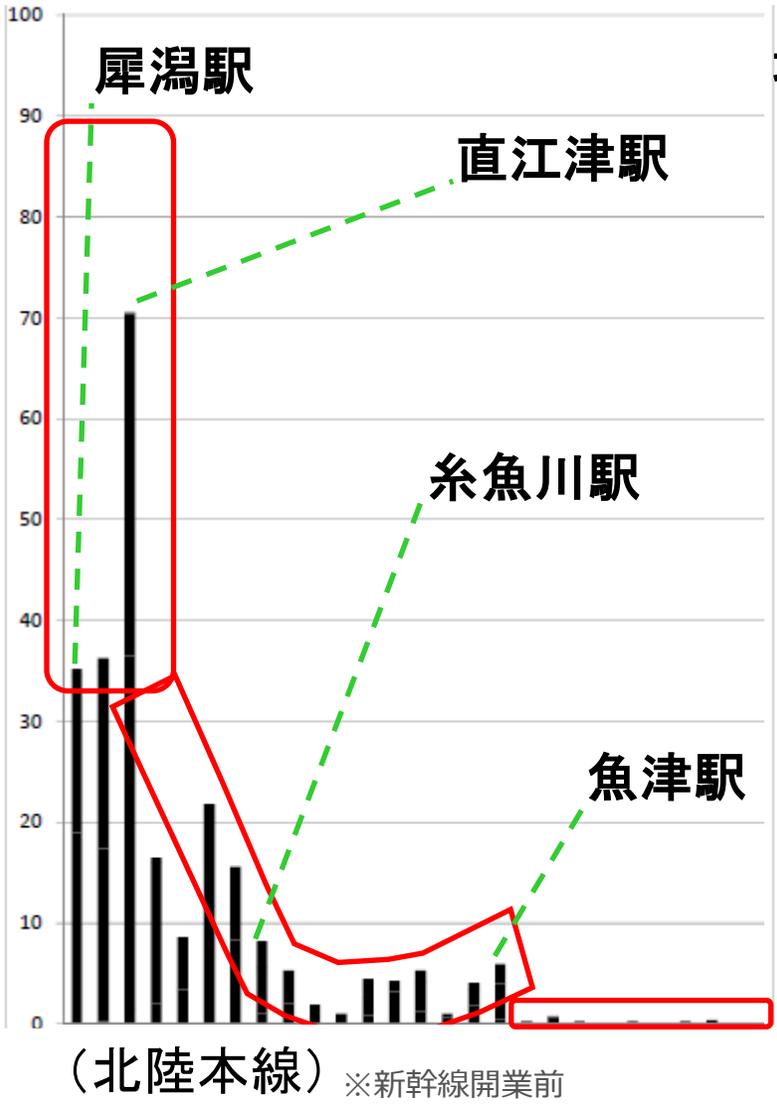
東に進むと名古屋近辺で一旦、増加も、その後、減少し、

北陸本線では魚津駅付近、中央本線では野尻駅付近、東海道本線では島田駅付近から東に向けて、**黒色墓石が段階的に増加**する。



主要3路線最寄り駅単位の1000m²あたり黒色墓石数

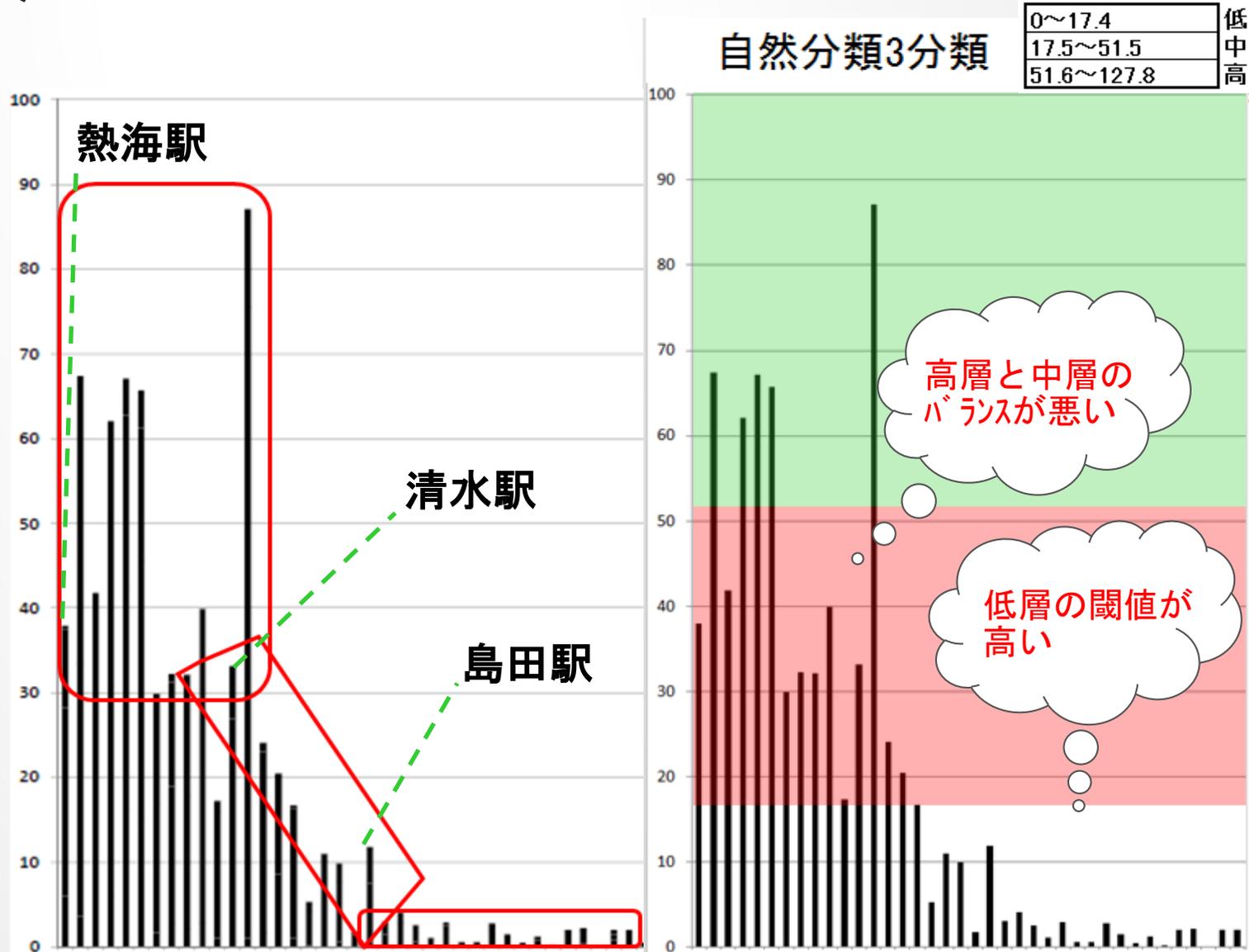
黒墓石数が
高い区域、
低い区域、
高いから低いに傾斜
している区域に
分かれることが
理解できた。



(3) 自然分類による3分類

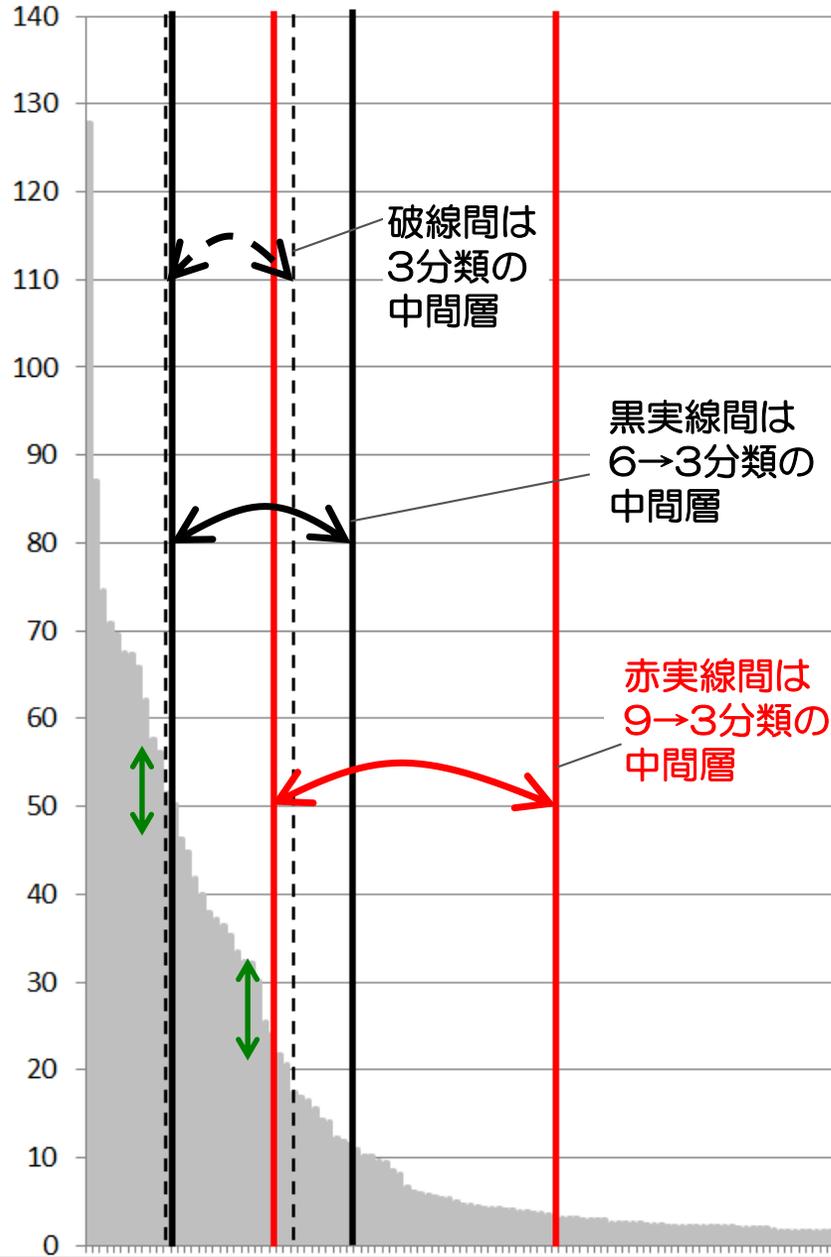
黒墓石数が**高い**区域、**低い**区域、**高いから低いに傾斜**している区域に分かれることから自然分類を使用することとした。

自然分類とは「データの変化量が比較的大きいところに閾値が設定される方法」です。
 英語では、Natural breaks
 と言われ、**break point** すなわち、**段差点で区切る方法**です。

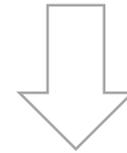


最寄り駅単位の1000㎡あたり黒色墓石数(東海道本線)

分類手法の検討



そこで、一度カテゴリ数を多めにして自然分類を行い、3分類に束ねることにした。



それぞれにbreak pointで区分されているが、9→3が低層の低さ良い。

何故、3の倍数？

上の下など評価を示す場合、上・中・下の3分類に、細分した上・中・下などを組み合わせるのが認知可能な階級区分と捉えた。

自然分類 3分類

1	0~17.4	低	
2	17.5~51.5		中
3	51.6~127.8		高

自然分類 6分類

1	0~3.3	低・高	低
2	3.4~11.5	低・低	
3	11.6~25.4	中・高	中
4	25.5~51.5	中・低	
5	51.6~87.1	低・高	高
6	87.2~127.8	低・低	

自然分類 9分類

1	0~0.7	低・高	
2	0.8~1.8	低・中	低
3	1.9~3.5	低・低	
4	3.6~6.6	中・高	
5	6.7~15.6	中・中	中
6	15.7~25.4	中・低	
7	25.5~51.5	低・高	
8	51.6~87.1	低・中	高
9	87.2~127.8	低・低	

主要3路線での検証

自然分類9→3分類が中間層の傾きと、低層の低さ両面が備わっていた。

Point

3分類	4分類	5分類	6分類	7分類	8分類	9分類
0.0~17.4	0.0~6.6	0.0~4.0	0.0~3.3	0.0~2.0	0.0~1.1	0~0.6
17.5~51.5	6.7~25.4	4.1~12.2	3.4~11.5	2.1~6.6	1.2~3.1	0.7~1.7
51.6~127.8	25.5~57.6	12.3~30.1	11.6~25.4	6.7~14.3	3.2~6.6	1.8~3.5
	57.7~127.8	30.2~57.6	25.5~51.5	14.4~25.4	6.7~14.3	3.6~6.6
		57.7~127.8	51.6~87.1	25.5~51.5	14.4~25.4	6.7~15.6
			87.2~127.8	51.6~87.1	25.5~51.5	15.7~25.4
				87.2~127.8	51.6~87.1	25.5~51.5
					87.2~127.8	51.6~87.1
						87.2~127.8

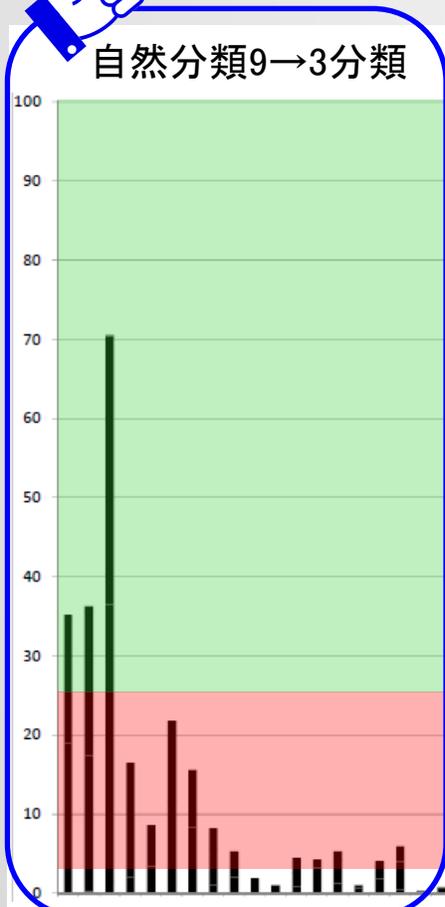
自然分類のランク最適解

0.8983 0.9298 0.9355 0.9760 0.9796 0.9805 0.9808

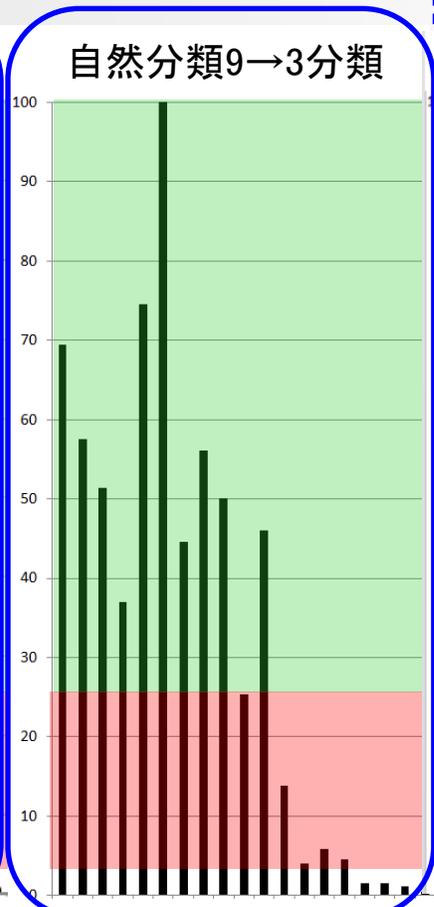
自然分類 18分類

0~3.3	下6分類
3.4~17.4	中6分類
17.5~127.8	上6分類

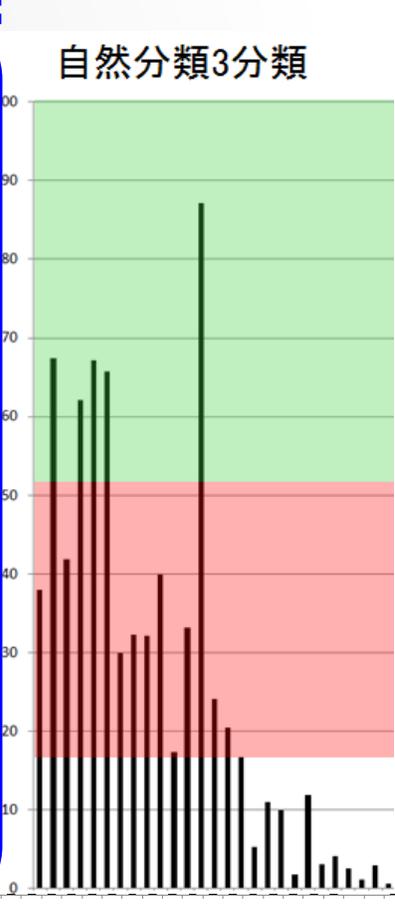
0.9656



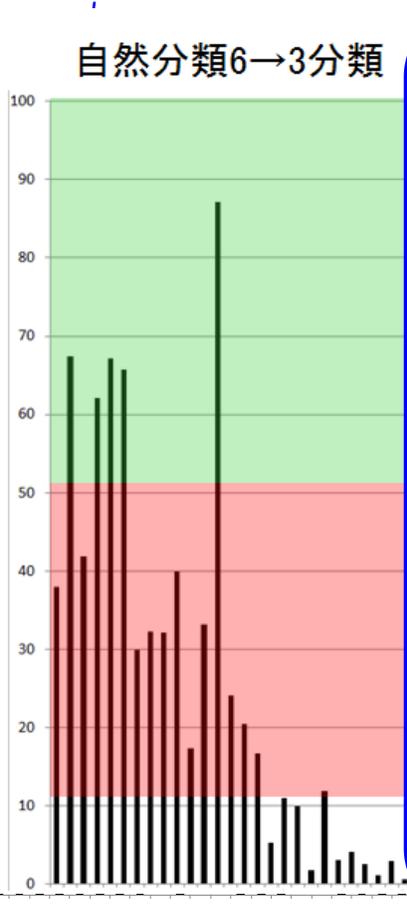
(北陸本線)



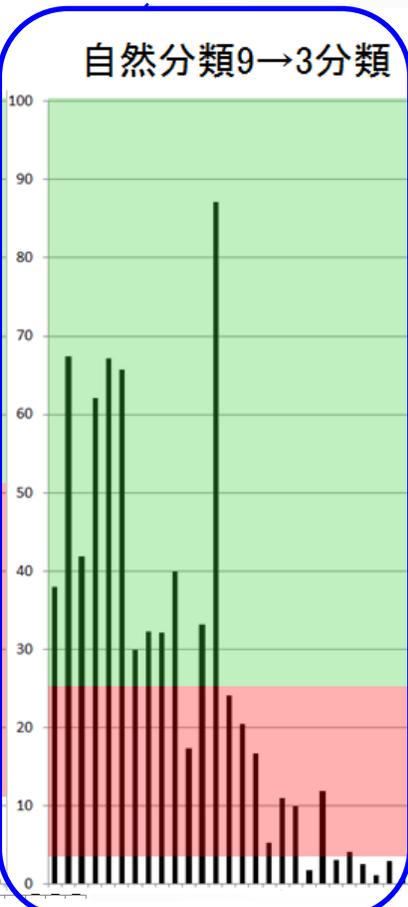
(中央本線)



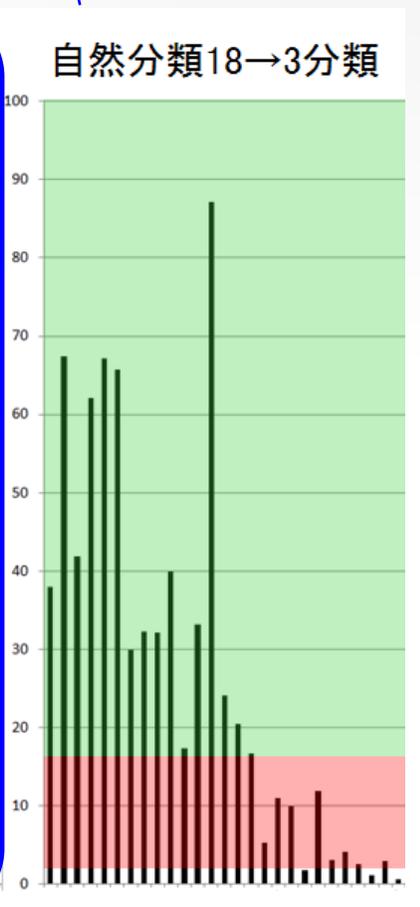
自然分類3分類



自然分類6→3分類



自然分類9→3分類



自然分類18→3分類

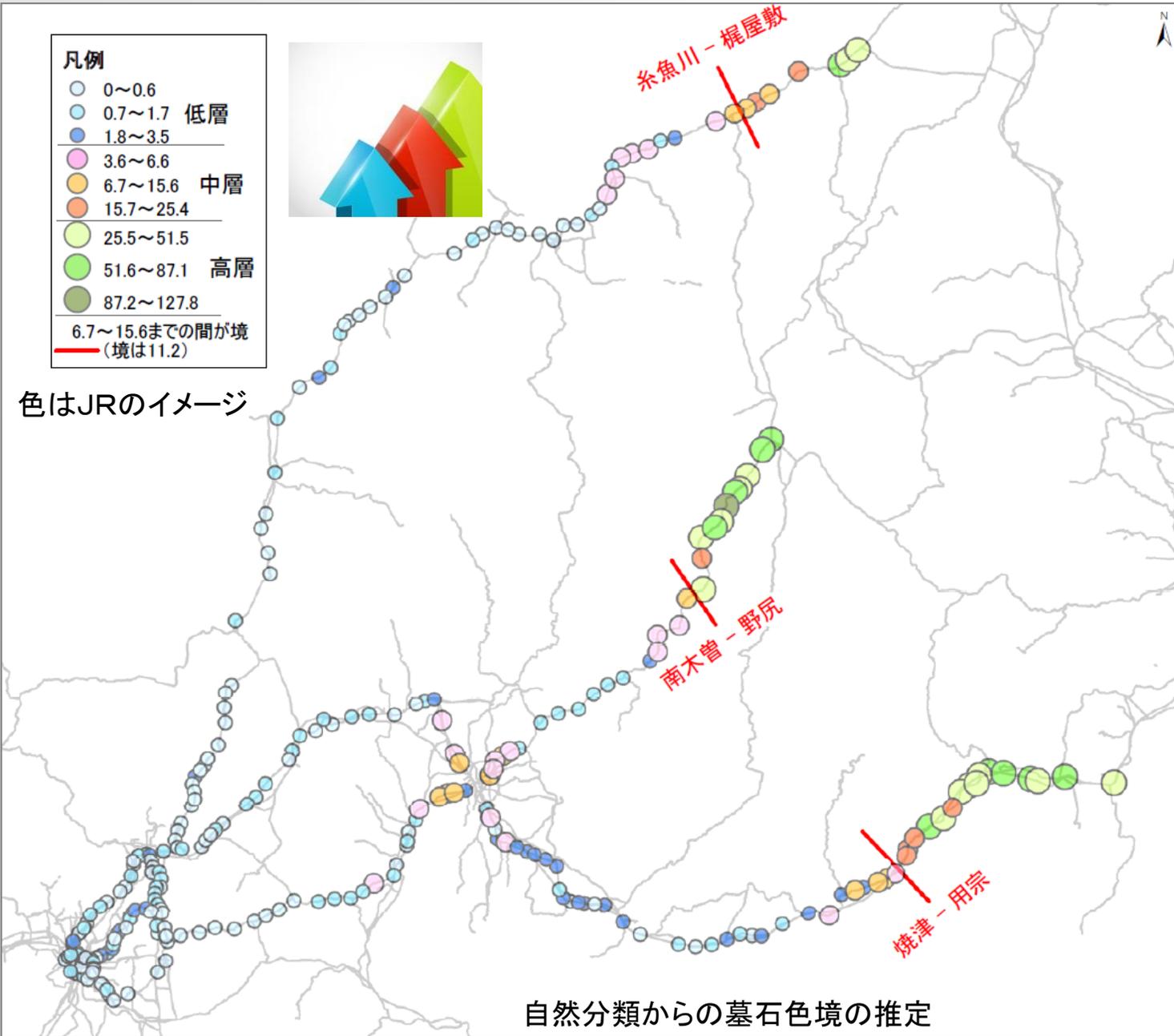
黑色墓石数の自然分類 (東海道本線)

(4) 墓石色境の推計

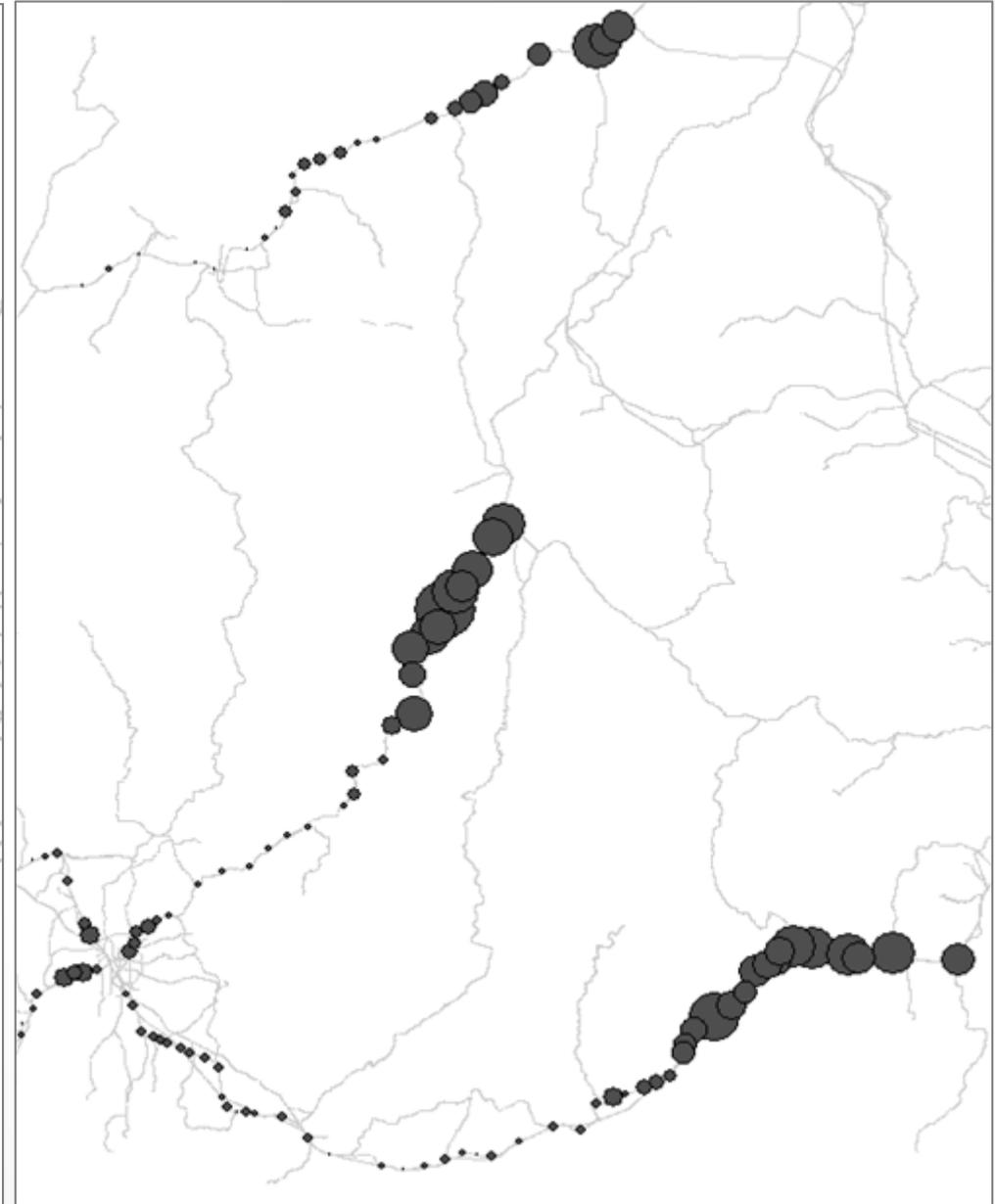
- 凡例
- 0~0.6
 - 0.7~1.7 低層
 - 1.8~3.5
 - 3.6~6.6
 - 6.7~15.6 中層
 - 15.7~25.4
 - 25.5~51.5
 - 51.6~87.1 高層
 - 87.2~127.8
- 6.7~15.6までの間が境
(境は11.2)



色はJRのイメージ



自然分類からの墓石色境の推定



3. 墓石の色の選択事由について

墓石の色選択について

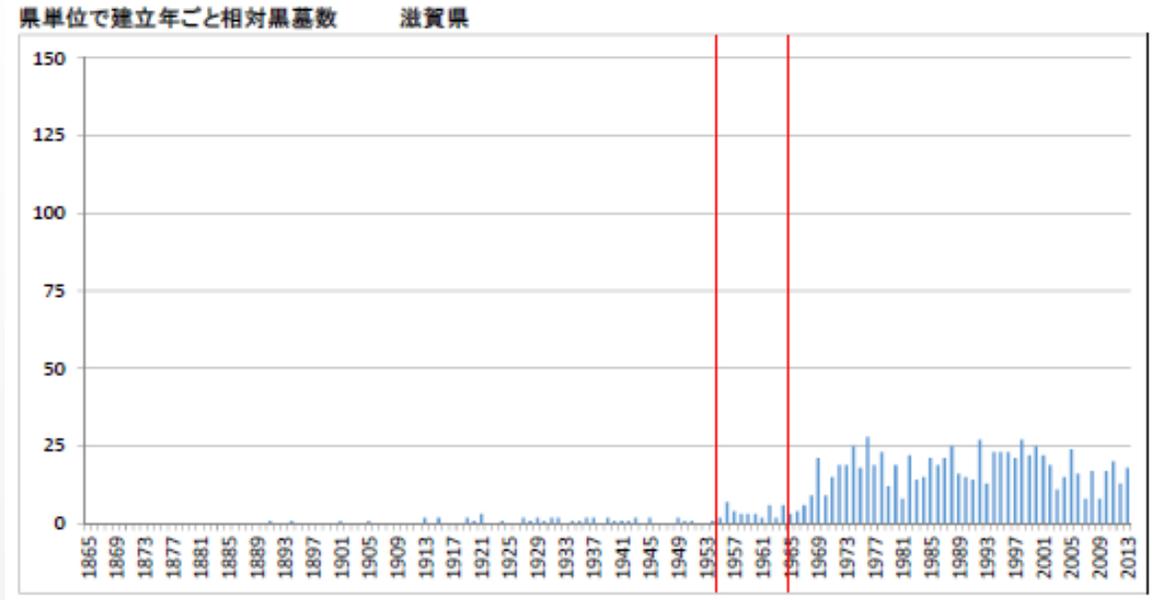
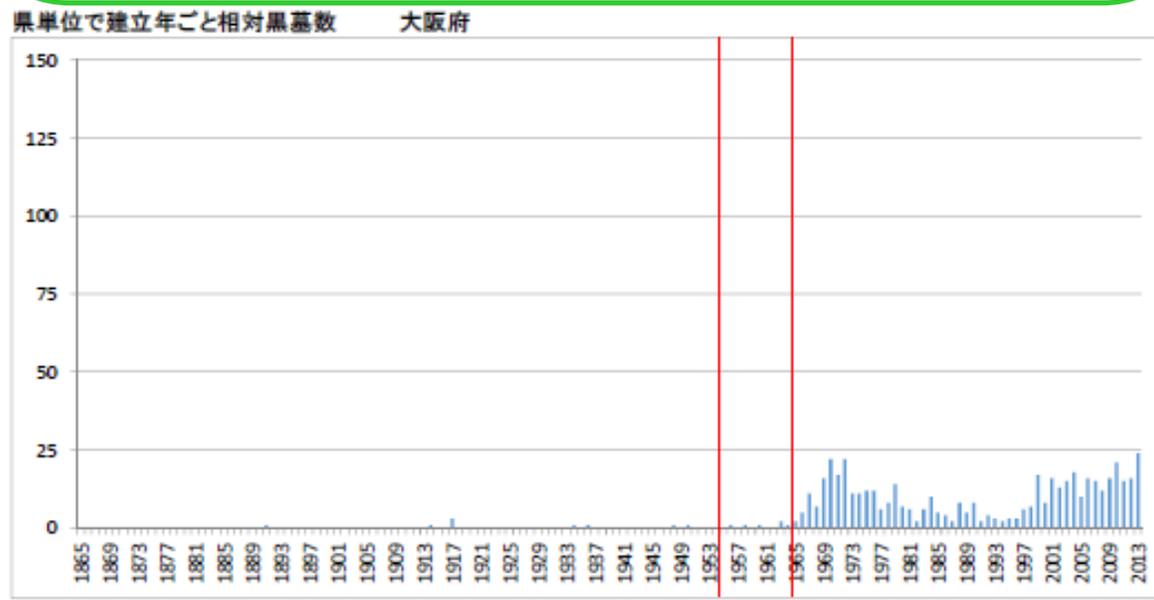
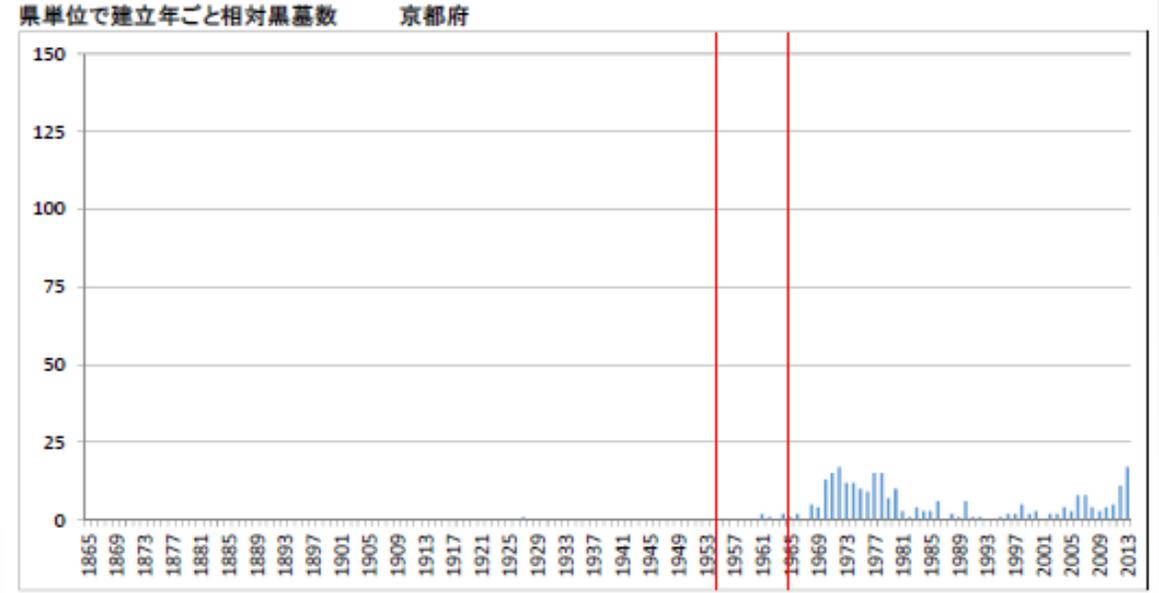
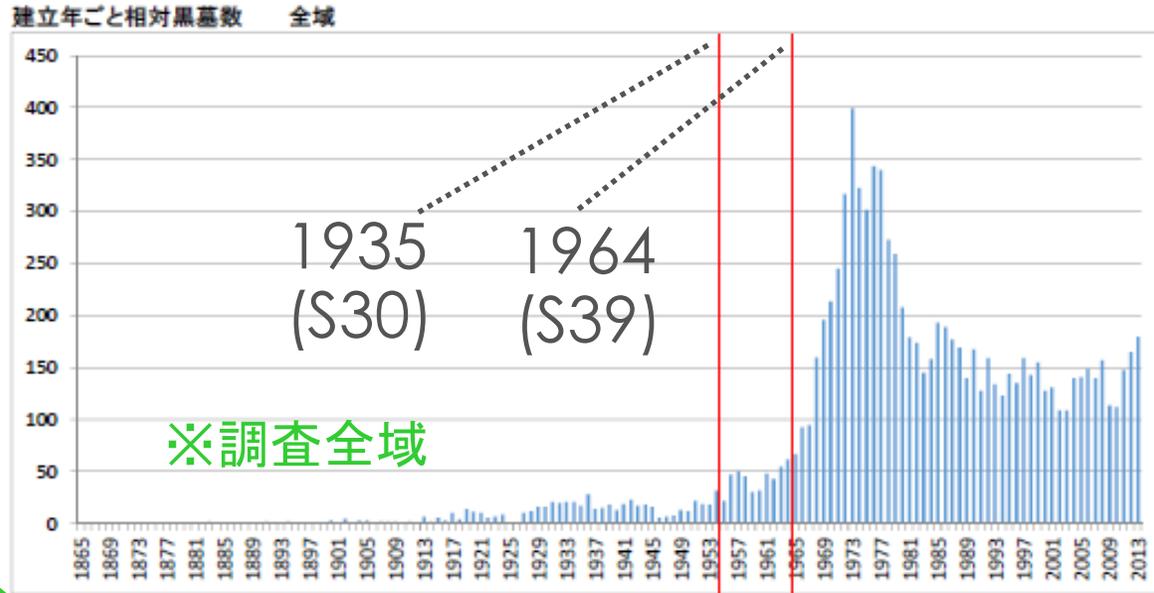
なぜ墓の色が違うのか？

いや何故、同じ日本でありながら、墓石の色が統一された地域がある一方、墓石の色が複数の地域があるのか？

そこで以下の視点ごとに検討を行う。

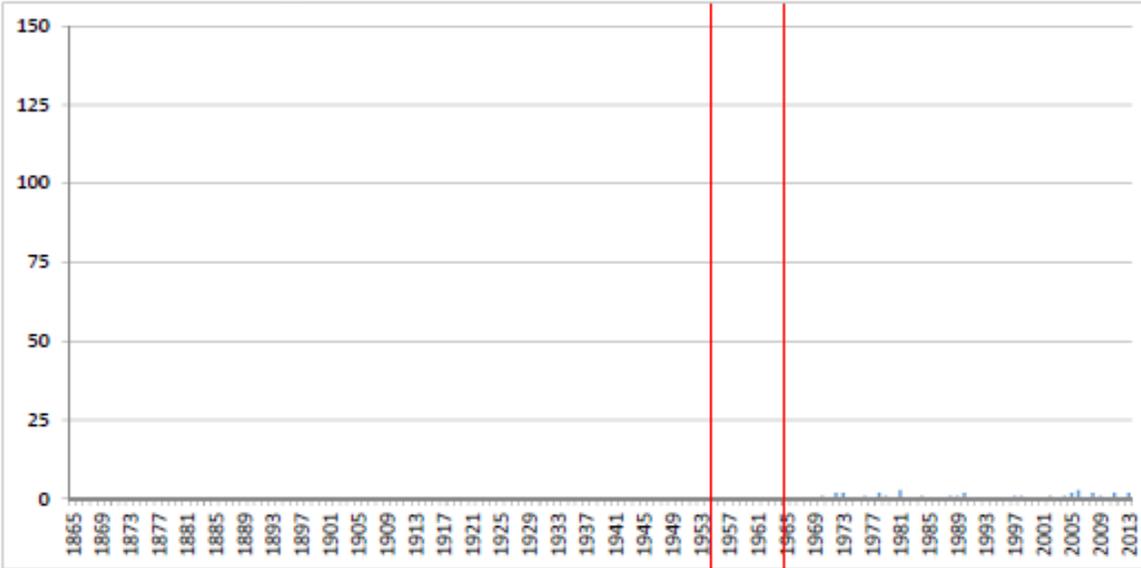
- 黒色墓石の建立年
- 黒色墓石の購入しやすさ
- 黒色墓石の購入の地域性
- さまざまな現象の、東西日本における境 との比較

(1) 黑色墓石の建立年調査結果 ² 建立年を府県単位で集計した。

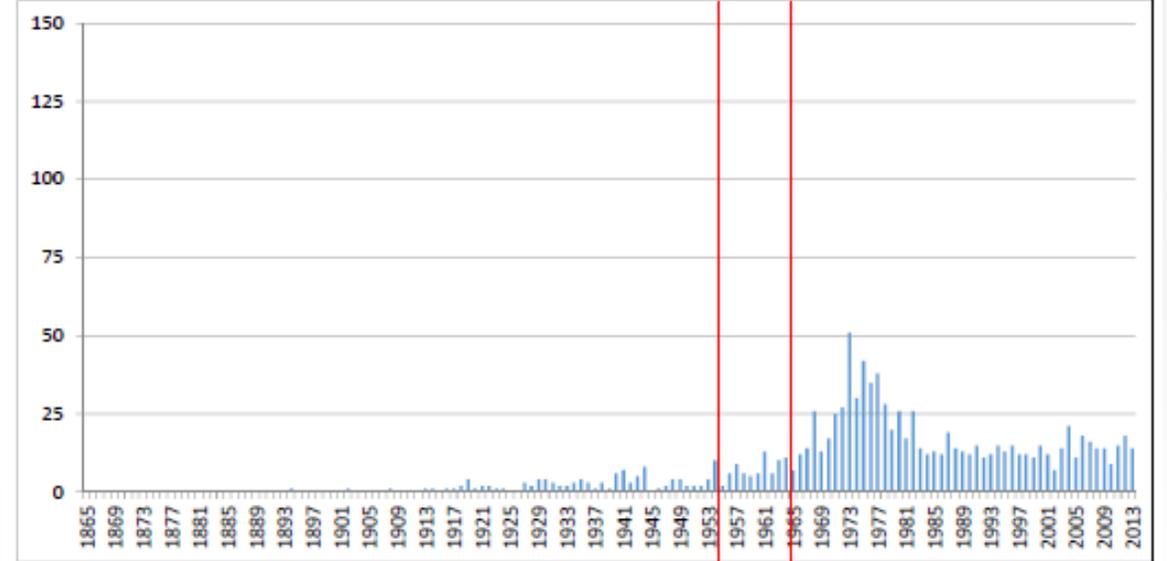


(1) 黒色墓石の建立年調査結果 3

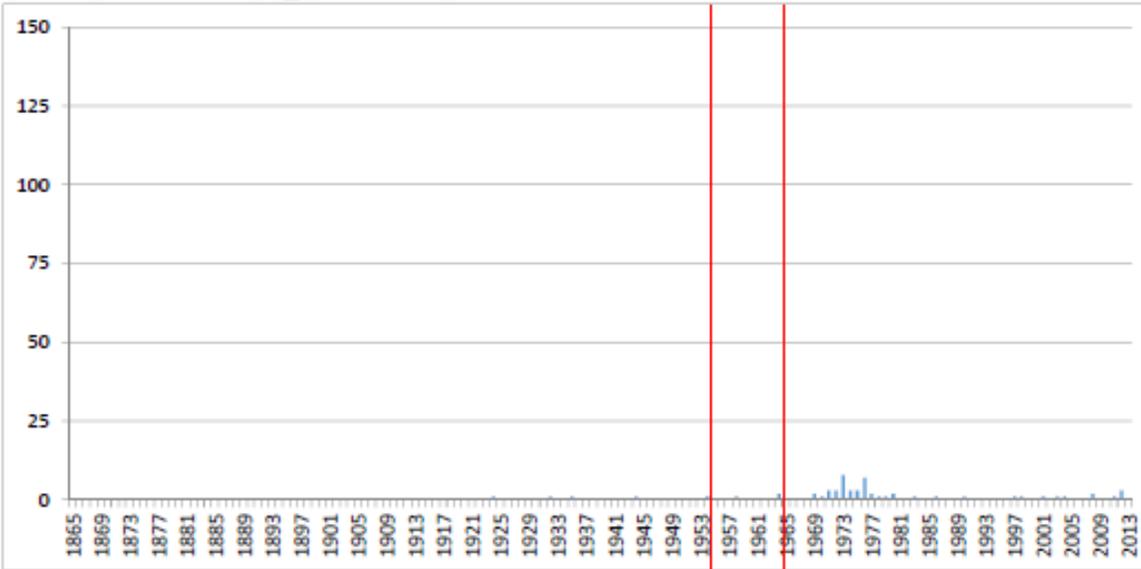
県単位で建立年ごとの相対個数 奈良県



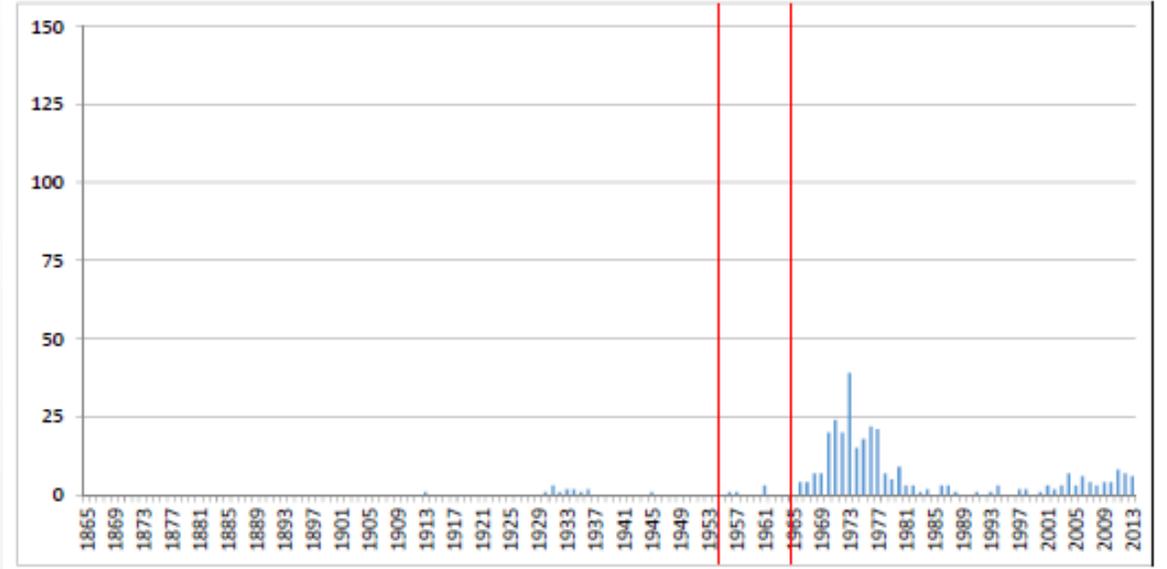
県単位で建立年ごとの相対個数 岐阜県



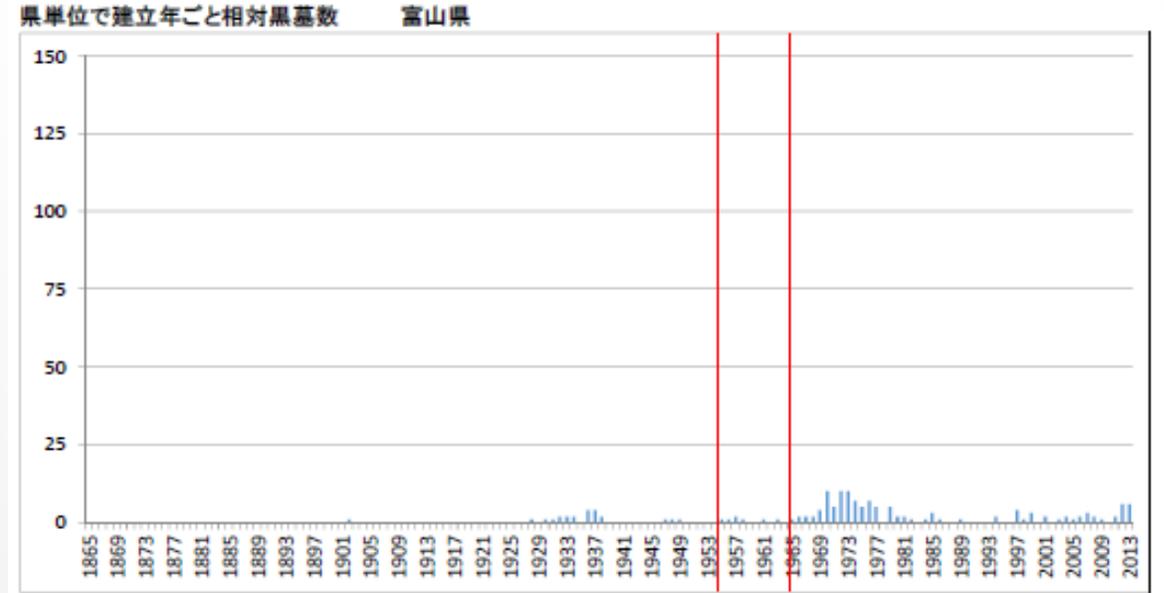
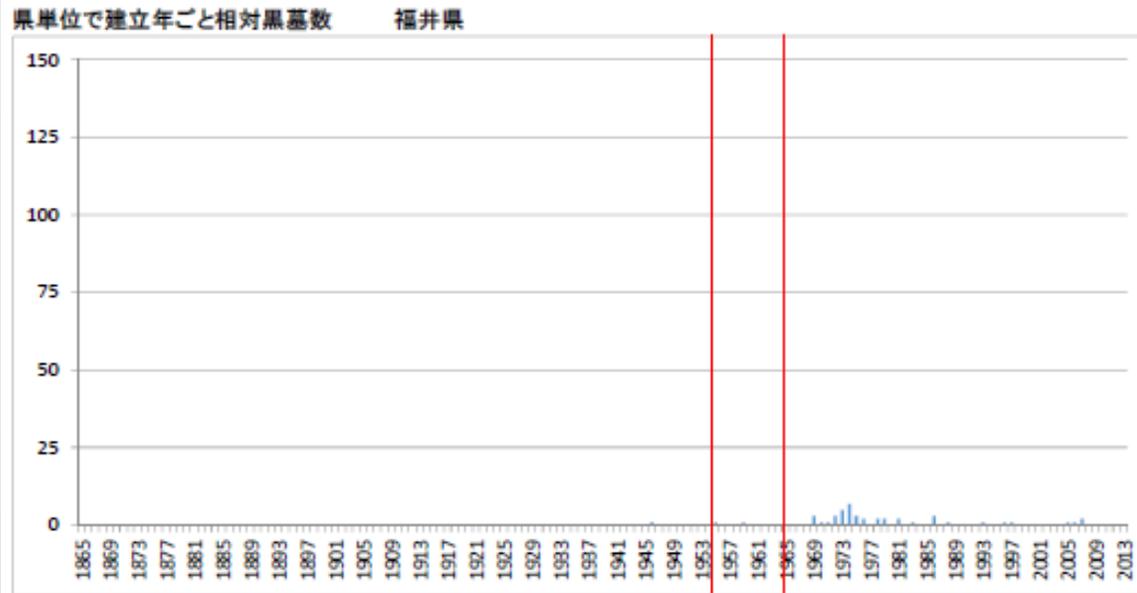
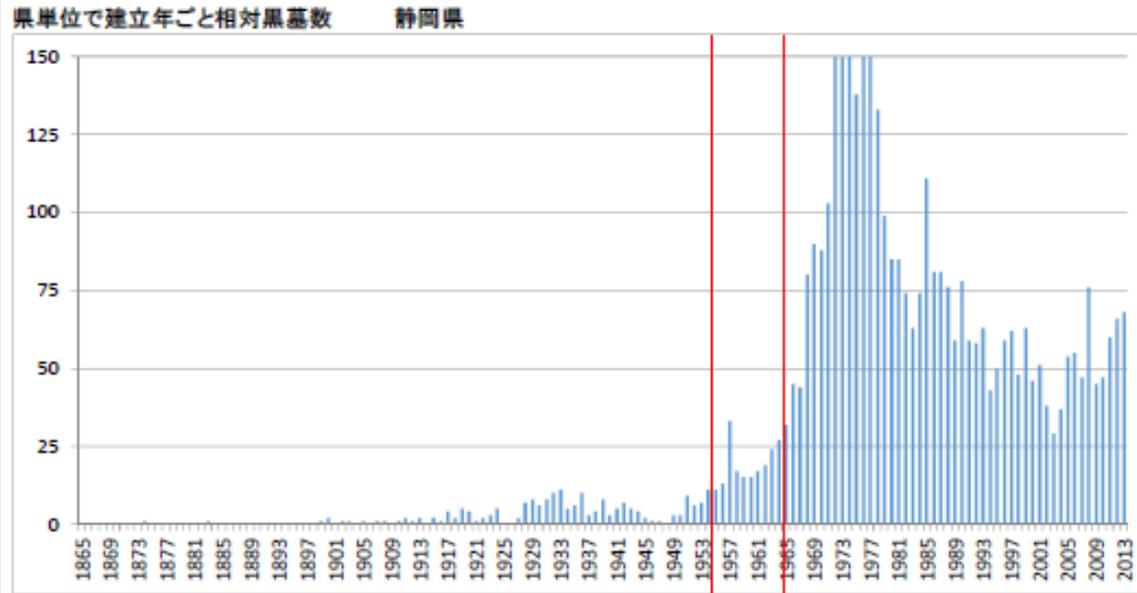
県単位で建立年ごとの相対個数 山梨県



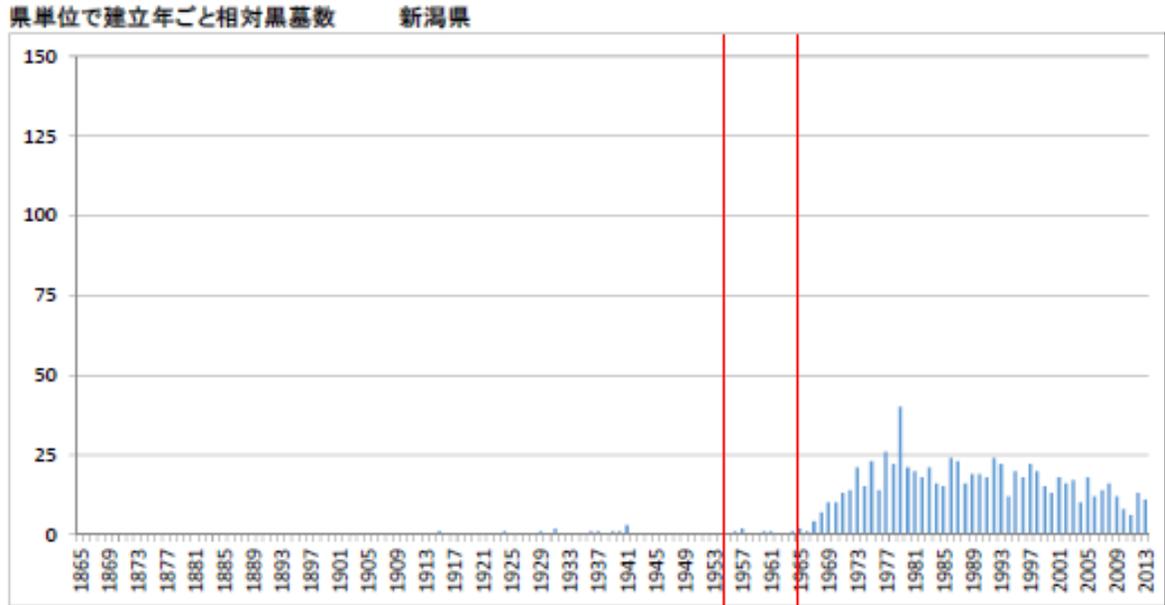
県単位で建立年ごとの相対個数 徳島県



(1) 黒色墓石の建立年調査結果 4

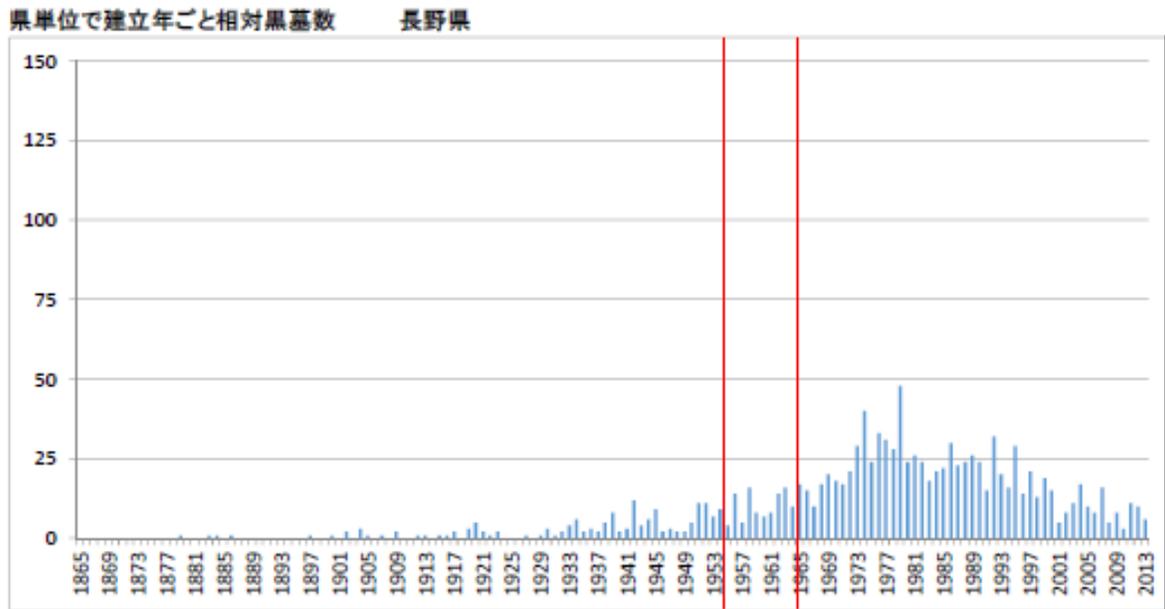


(1) 黒色墓石の建立年調査結果 5



新潟県では、1965年（昭和40年）までの建立が少ない。

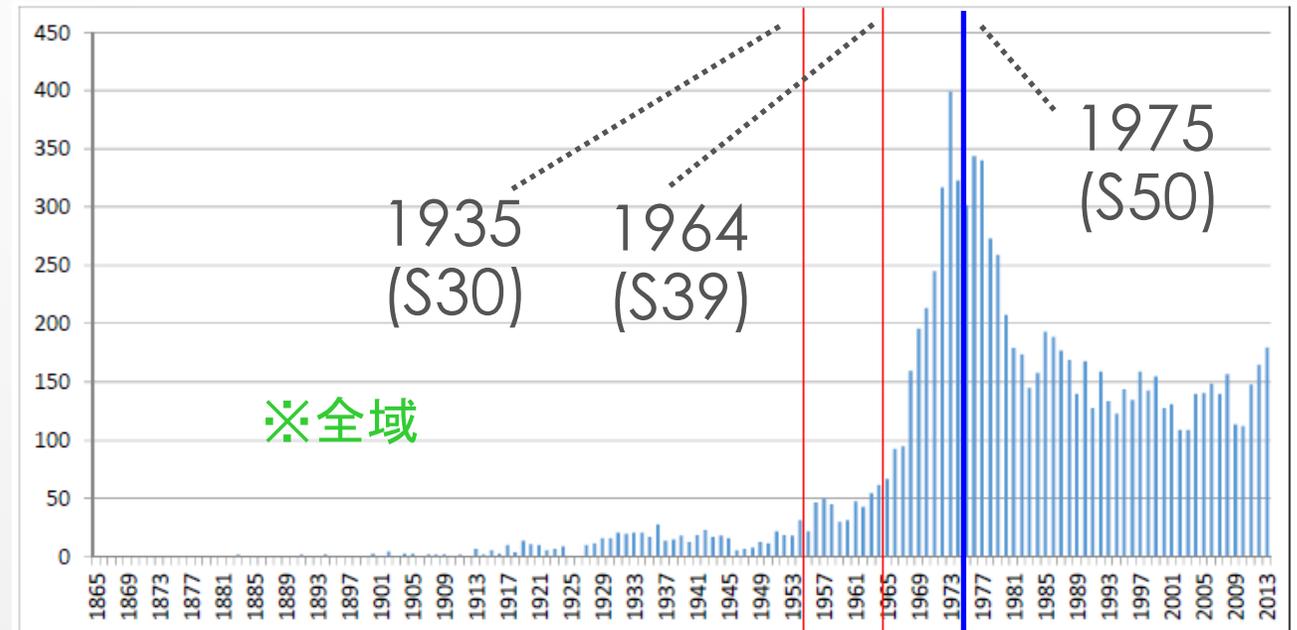
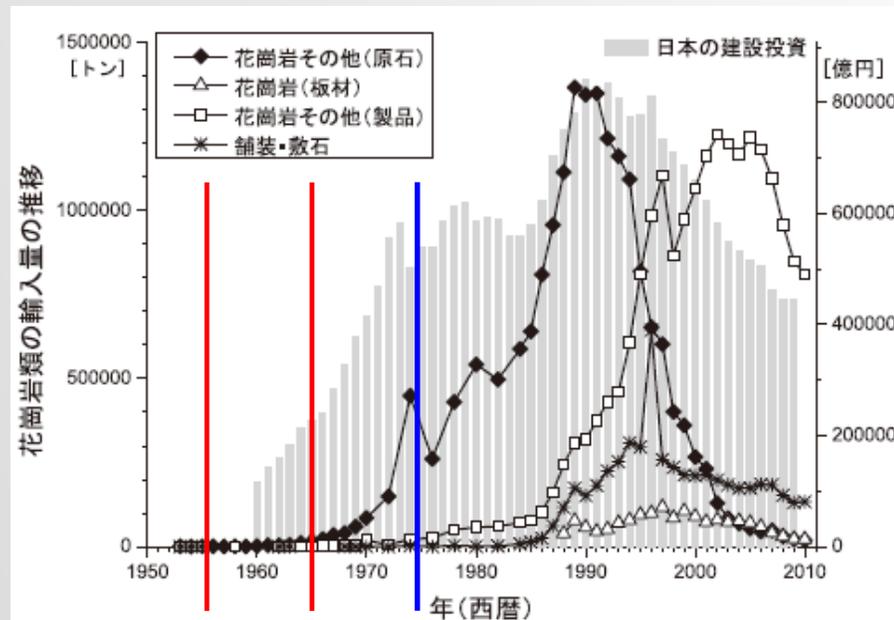
これは、建て替えによるものが多い。



(2) 黒色墓石の購入しやすさ₁

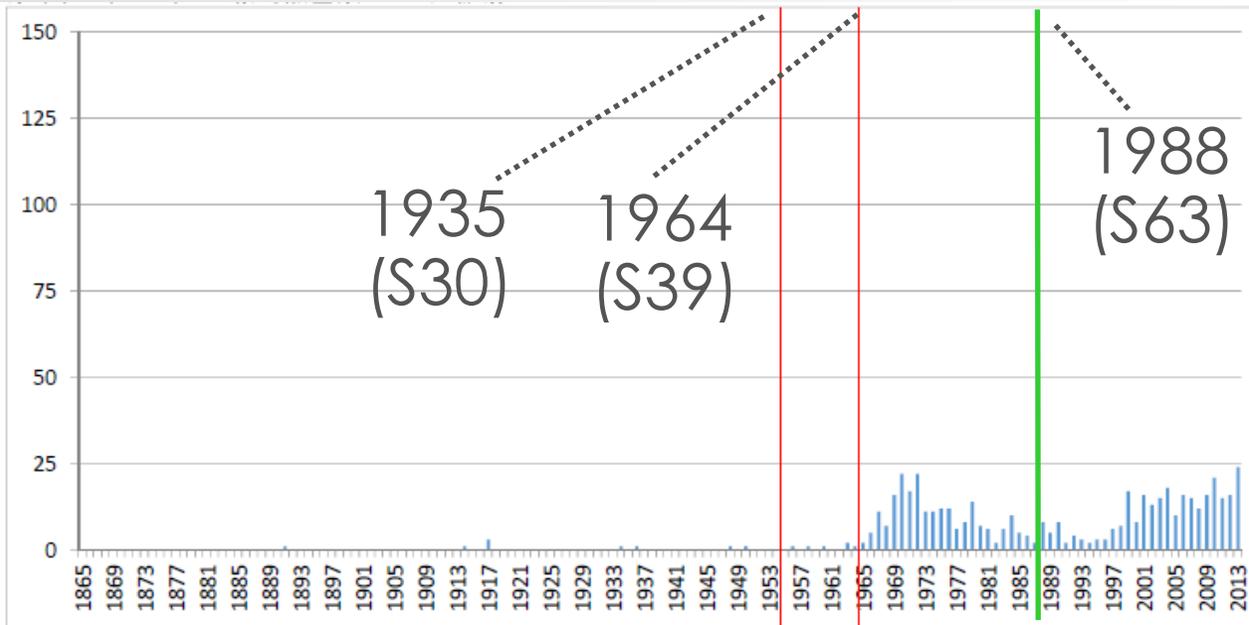
花崗岩の輸入が1965年（昭和40年）頃から増えることは、今回の調査結果の、黒色墓石が1965年から急激に増える事と合致する。

これは、今まで近隣産地に縛られ色の選択が出来なかった状況から、**輸入により選択の自由が起こり、黒色墓石のフィーバーが1975年（昭和50年）を頂点にして、起こったと捉えることができる。**

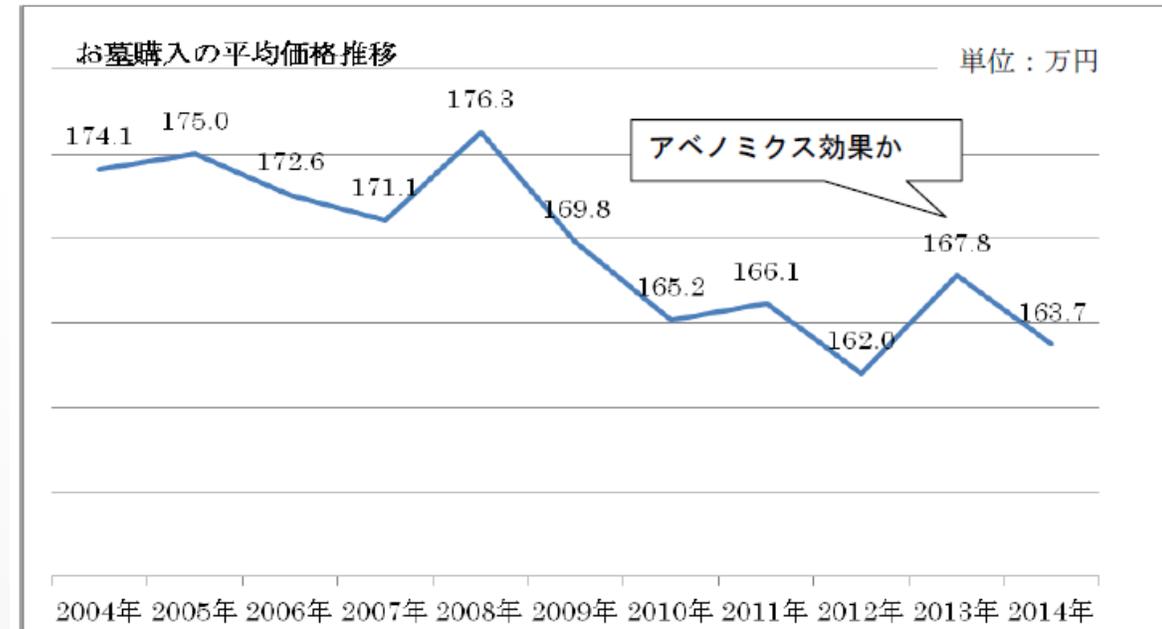


(2) 黒色墓石の購入しやすさ 2

大阪、京都、愛知、富山においては1975年（昭和50年）頃に上昇のピークがあり、昭和63年頃に底になり、その後、現在に向けて緩やかに上昇の傾向となっている。これは、**バブル経済の物価高騰により、お墓の価格が1988年（昭和63年）をピークに高い状況にあり、黒の選択に経済的観点が影響していたと想定する。**



建立年ごと相対黒墓石数(大阪府)

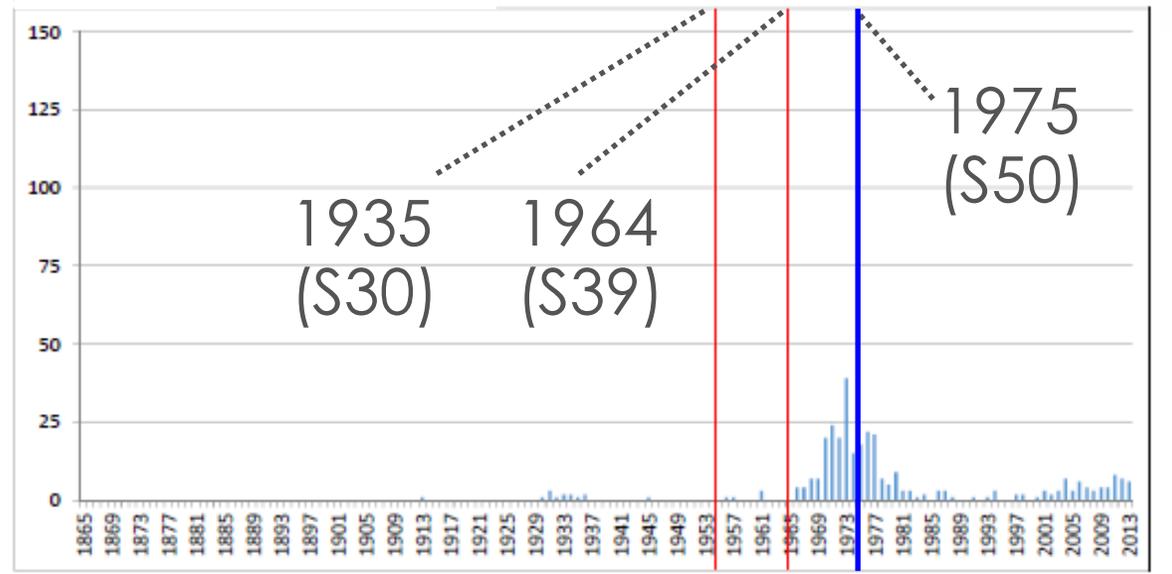
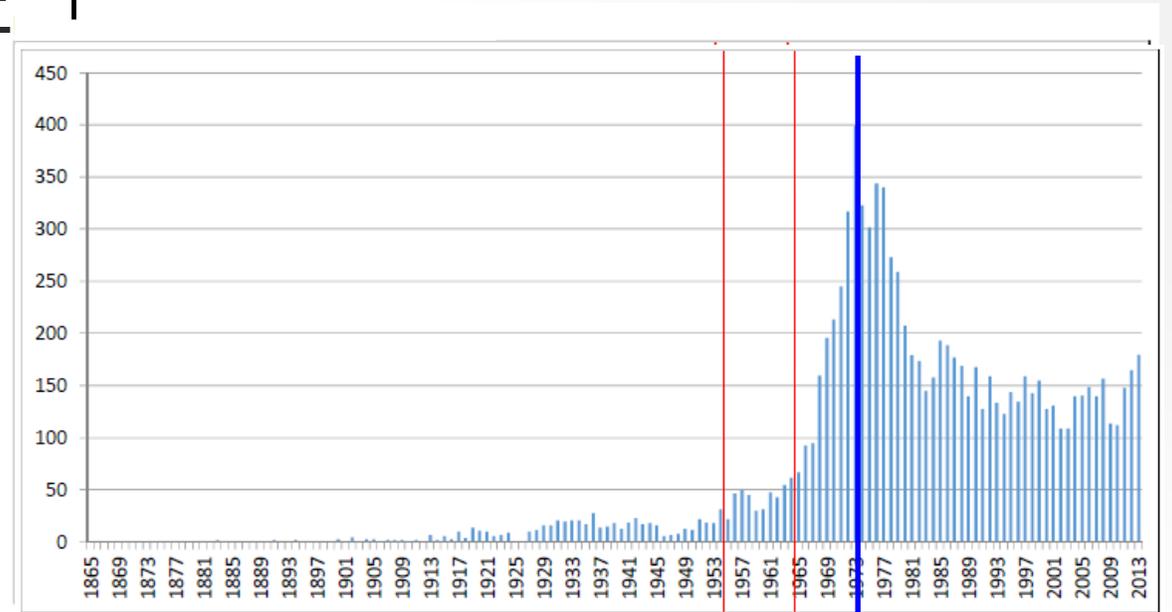
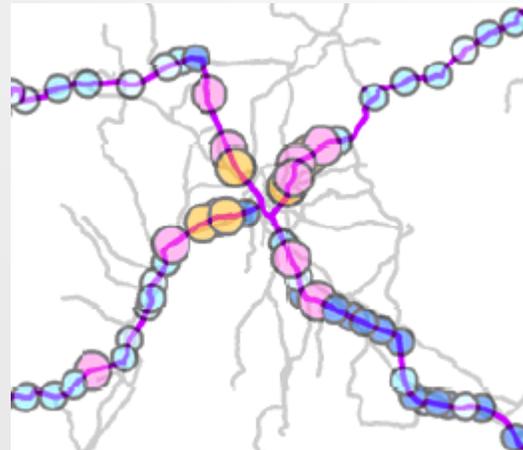
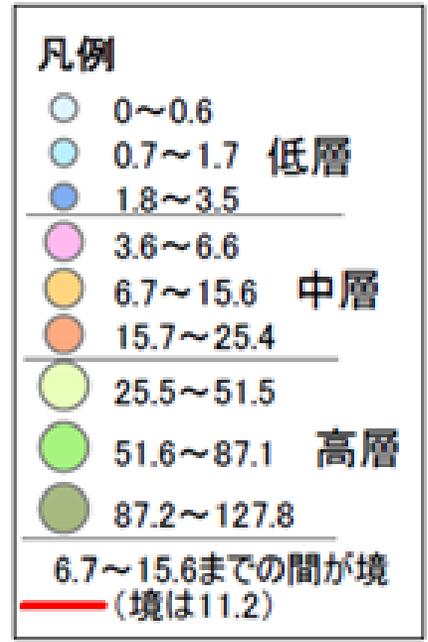


全国優良石材店の会 2014年版 お墓購入者アンケート調査
 1988年の、お墓の価格は存在しないが、2004年からの価格と相対黒墓石数は反比例の関係にある。 23

(3) 黒色墓石の購入の地域性 1

愛知県では、黒色の墓石数が名古屋市から放射状に割合が高い。
1964年までに高くないのに何故？

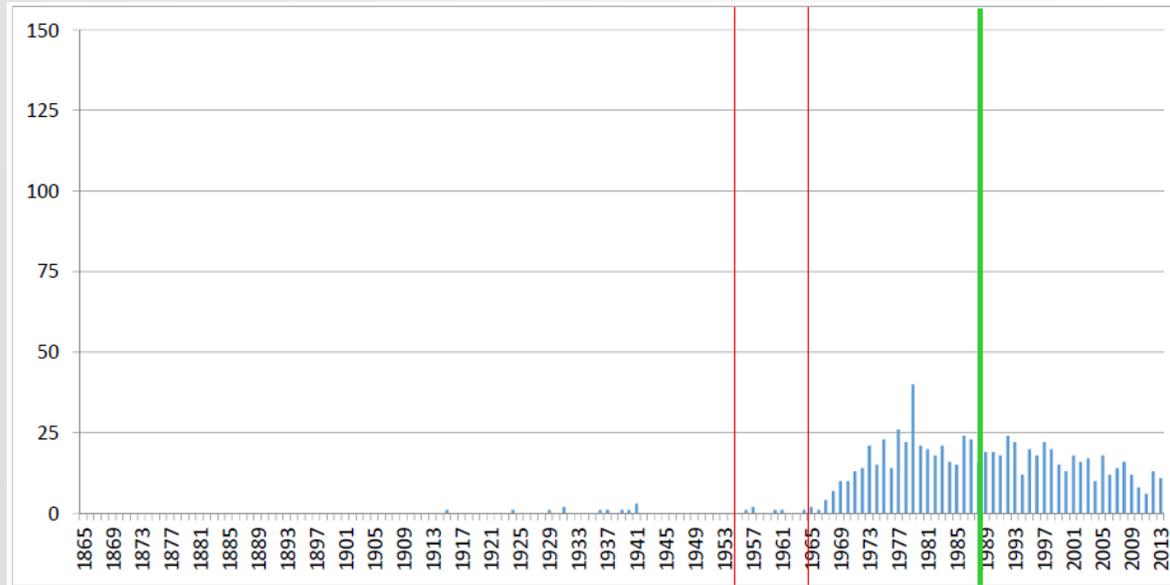
これは**輸入による黒色墓石フィーバー**にいち早く乗ったが、その後はやりが覚めたとも見られる。



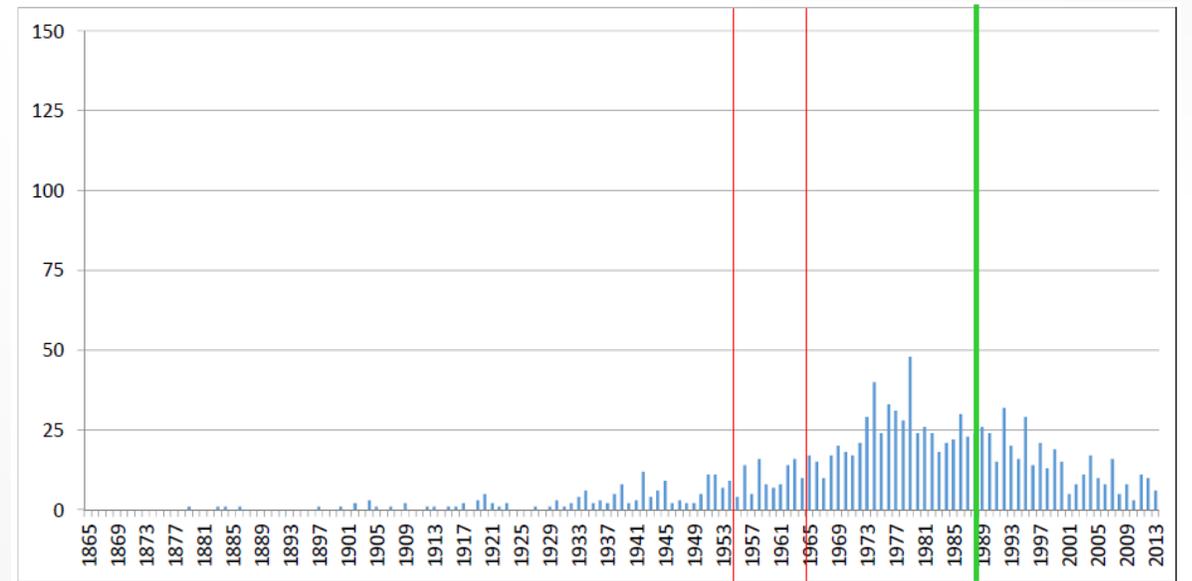
建立年ごと相対黒墓石数(調査全域と愛知県)

(3) 黒色墓石の購入の地域性 2

とすると、(2)と違うグラフ形態である、新潟県、長野県は、昭和63年頃に底を打たない、要は**いくら高くても黒の選択に、影響を受けない地域といえる。**



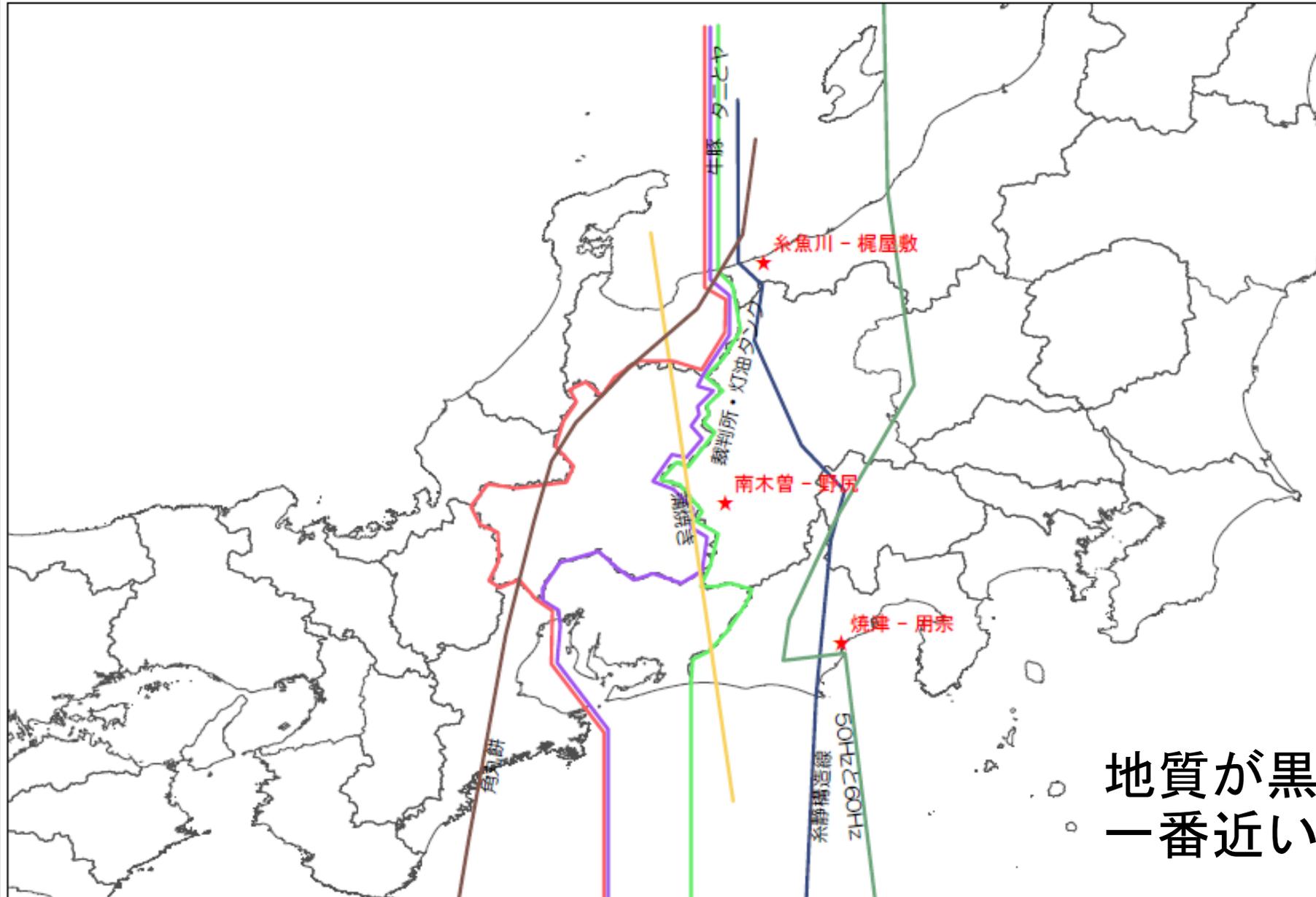
建立年ごと相対黒墓石数(新潟県)



建立年ごと相対黒墓石数(長野県)

そこまで黒を重要視する要因について、次に考察する。

(4) さまざまな現象の、東西日本における境 との比較 1



凡例

★ 墓石色境 (幹線鉄道)

東西境

— 角丸餅

— 牛豚

— 谷をタニとヤ

— 蒲焼き

— 裁判所・灯油タンク

— 糸静構造線

— 50Hzと60Hz

地質が黒色墓石の境と一番近い感じがするが . . .

(4) さまざまな現象の、東西日本における境 との比較 2



小諸城址にて



小諸城址にて



ブラタモリ 富士山編より

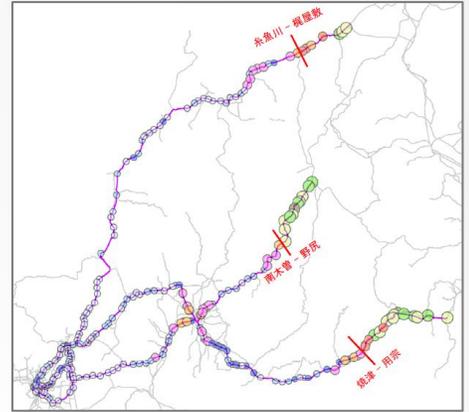


上諏訪にて

溶岩に慣れ親しんでいる
事が黒という色への親し
みではないだろうか

まとめ

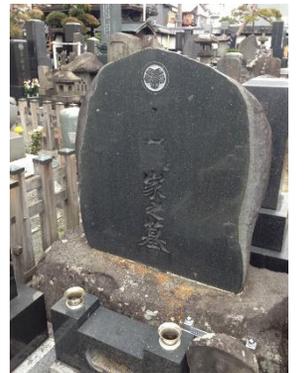
研究結果から、東の黒色墓石中心と西のグレー墓石中心の境は北陸本線では糸魚川－梶屋敷間、中央本線では南木曾－野尻間 東海道本線では焼津－用宗間とした。



色の選択においては、輸入が増える1965年（昭和40年）よりも前のその地域の墓石の色に大きく左右されることが確認できた。

また、輸入により選択の自由が起き、1975年（昭和50年）頃に黒選択の上昇のピークがあったことが確認できた。

東日本で黒が高く選択される要因は、溶岩に慣れ親しんでいることが黒という色への親しみと捉えた。



今後は、溶岩との因果関係について活火山がある九州での墓石の色調査、さらに、東北、北海道と調査を進める。



ご清聴ありがとうございました。

休憩のあと 現地調査旅であった小話へ

4. 現地調査旅であった小話

いろいろ色の小話

(1) 現地調査で気になった お墓とは？

いろいろ色の小話



- キティちゃんはあれを見ることが出来ない...



- 合理的なミニ墓はどの地方？



- 北海道と〇〇県に共通点が

いろいろ色の小話

(2) 調査は1日で平均7駅を3基地＝平均20基地程度が
1日で105基地まわられた場所とは？

いろいろ色の小話

真田丸付近 ～ 四天王寺にかけて

いろいろ色の小話

(3) なぜ、墓石色調査に夢中になったの？

- グレーしかないというのが当たり前と思っている私のような者もいれば、塩尻のように、殆ど黒ばかりという中で育っている人がいる。その事実を、数量化して客観的に伝えたい
- 今回の調査結果を、視覚的に表現するためには、地理情報システム（GIS）が必要であり、GISを、世の中の人に認識してもらえらる事になるのではないか
- 墓石の色に興味を持ったとき、いずれ誰もが行く場所について、少し考えることができるのではと、それは樹木葬とか散骨なんかも含めて

いろいろ色の小話

(4) 現地調査旅で、ヒントを得たこと

- 甲府のビジネスホテルで、甲州ワインの白・赤一杯ずつのサービス
→自然分類の分類数
- 中山道マップを片手に、景色を眺めている御年80代ぐらいの方が
→知的好奇心に歳なんて関係ない
- コアタイム

コアタイム！ ～大きな旅でなくても出来る

いろいろ色の小話 7 (道程編) より

電車に乗っていて暇やし、**何が楽しいの**と聞かれることがある。

しかし、私にとっては その時間が乗り鉄になって一番楽しく、
落ち着き、やみつきの時間である。

何故なら、創造力をはたらかせる時だからだ。
見知らぬ景色を見て、違う方言で周りがしゃべっている。

そのような異空間で、違った発想が自然と出てくる。
研究・開発の新しいロジックが生まれ、新たな試みの発想も出てくる。

そう、自分の既成概念を打破し、心が開ける気がする。

キーワードはdifference。それは、遠さでは無い。
須磨の瀬戸内海、大国町の乗換えなど・・・近くにも有る



5. お持ちいただいた本の紹介